

社団法人 日本病院会 平成21年度 第1回定期常任理事会 議事抄録

日 時 平成21年4月25日(土) 13:00～17:00
会 場 社団法人 日本病院会 5階会議室
出席者 山本 修三 会長
池澤 康郎、佐藤 眞杉、堺 常雄、大井 利夫、村上 信乃、宮崎 忠昭 各副会長
林 雅人、宮崎 瑞穂、石井 暎禧、梶原 優、木村 壯介、末永 裕之、松本 隆利、
武田 隆久、大道 道大、中島 豊爾、土井 章弘、安藤 文英、宮崎 久義、
須古 博信 各常任理事
柏戸 正英、石井 孝宜 両監事
野口 正人 代議員会副議長
大道 學、奈良 昌治 両顧問
行天 良雄、高久 史磨、岩崎 榮、木村 弥生(久常 節子 会長代理) 各参与
宮下 正弘、高橋 正彦、藤原 秀臣、関口令安、岡留健一郎、星 和夫、有賀 徹、
佐合 茂樹、大道 久 各委員長
西村 昭男、福田 浩三、福井 洋、高野 正博 各支部長

総勢 43名の出席

池澤副会長の議事進行により会議に入った。

開会に際し山本会長から、政府は、経済危機克服のための「有識者会合」を開き、具体的施策として取り組むため補正予算を計上している。この件については、のちほど、現状報告申し上げたい。また、5月の総会に提出する議題については、本日の常任理事会で審議願い了承後、5月23日の定期理事会に議題提出致したいと考えている旨の挨拶が述べられた。

挨拶後、会議定足数として、定数24名中、出席18名、委任状3通、計21名(過半数12名)で会議が成立している旨の報告後、議事録署名人に林 雅人、石井暎禧 両常任理事を選任し議案審議に入った。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

前回の役員会以後の会員移動として、正会員の入会2件、正会員の退会4件、特別会員の退会1件、賛助会員の退会3件について紹介され、協議の結果、届出を承認した。

(正会員の入会2件)

- ①埼玉県・医療法人・三慶会 指扇療養病院(会員名：鈴木 慶太 理事長)
- ②熊本県・医療法人・杏和会 城南病院(会員名：直江 弘昭 院長)

(正会員の退会4件)

- ①青森県・市町村・国民健康保険 川内病院(会員名：田中 輝彦 院長)
- ②神奈川県・国立病院機構・独立行政法人 南横浜病院(会員名：宮入 守 院長)
- ③静岡県・全社連・社会保険浜松病院(会員名：小谷野 憲一 院長)
- ④熊本県・医療法人・光輝会 ニュー天草病院(会員名：西 征寛 院長)

(特別会員の退会1件)

- ①A会員・新潟県・緑の丘診療所

(賛助会員退会 3 件)

- ① A 会員・東京都・(株)イー・ヴィジョン
- ② B 会員・東京都・(株)東 基
- ③ D 会員・埼玉県・工藤 利夫

平成 21 年 4 月 25 日現在

正会員	2,649 会員 (2,651+2-4)
賛助会員	241 会員 (242-1)
賛助会員	236 会員
	A 会員 99 (100-1)
	B 会員 101 (102-1)
	D 会員 36 (37-1)

2. 関係省庁および各団体からの依頼等について

下記依頼事項について検討した結果、依頼を承認した。ただし、S-QUE 院内研修特別企画第 5 回の後援、会場使用については、検討している現状にあり、依頼を保留とした。

(継続：後援、協賛等 5 件)

- ①平成 21 年度「愛の血液助け合い運動」(厚生労働省)の後援
- ②「蓄熱月間」(財)ヒートポンプ・蓄熱センターに対する協賛名義
- ③シンポジウム 2009「医療への信頼確保と医療安全」(医療と法律研究協会)の後援
- ④第 38 回日本医療福祉設備学会(日本医療福祉設備協会)の後援
- ⑤第 31 回第 2 種 ME 技術実力検定試験(日本生体医工学会)の協賛

(継続：理事、評議員等 6 件)

- ①(財)日露医学医療交流財団の理事継続就任依頼
理事名：山本 修三 会長
- ②(財)日本医療保険事務協会の理事継続就任依頼
理事名：山本 修三 会長
- ③(社)日本経営協会の評議員の継続就任
評議員名：池澤 康郎 副会長
- ④卒後臨床研修評価機構の新医師臨床研修評価に関する研究会の理事継続就任依頼
理事名：山本 修三 会長
- ⑤日本医療法人協会の特別顧問の継続就任依頼
特別顧問名：山本 修三 会長
- ⑥消防庁の予防行政のあり方に関する検討会委員の委嘱
委員名：村上 信乃 副会長

(新規：後援 1 件)

- ①総務省「平成 21 年度ユビキタス健康医療技術推進事業」の後援名義使用

(新規：委員 1 件)

- ①文部科学省「周産期医療環境整備事業(人材養成環境整備)」選定委員会に係る委員
推薦者：近藤 達也 元常任理事、(独)医薬品医療機器総合機構 理事長

(新規:シンポジスト推薦 1 件)

- ①シンポジウム 2009「医療への信頼確保と医療安全」(医療と法律研究協会)のシンポジスト推薦依頼

推薦者:大井 利夫 副会長

(依頼事項の保留)

- ①S-QUE 院内研修特別企画第 5 回(S-QUE 研究会)の後援及び会場借用

3. 人間ドック健診施設機能評価認定施設の指定について

下記施設の認定を承認した。

(新規認定施設 2 施設・Ver. 2.0)

- ①新潟県・新潟保健衛生センター成人病検診センター
②愛知県・三河安城クリニック

(更新認定施設 2 施設・Ver. 2.0)

- ①茨城県・財団法人 筑波メディカルセンター つくば総合健診センター
②愛知県・医療法人 山下病院健診センター

4. 平成 21 年度代議員会・総会への議案について

5 月 23 日(土)に開催される代議員会・総会へ提出する議題(案)が提案され、協議の結果、常任理事会は承認し、5 月期理事会に上程することとした。また、平成 20 年度収支決算は、5 月 1 日に監事監査があり、5 月期理事会での提出、審議となった。

(提出議題案)

- ・平成 20 年度事業報告書(案)について
- ・平成 20 年度収支決算書(案)について
- ・平成 21 年度事業計画(案)について
- ・平成 21 年度予算(案)について

5. 日本病院会支部長連絡会の開催について

6 月 13 日(土)に開催する北海道ブロック支部総会と併せて、日本病院会の 13 支部長連絡会(仮称)を開催することとした。開催要領は下記のとおり。

日時 平成 21 年 6 月 13 日(土)

会場 ロイトン札幌〒060-0001 札幌市中央区北一条西 11 丁目 TEL 011-271-2711

プログラム

時間帯	会議等(名称)
16:00~16:50	日本病院会 支部長連絡会(13 支部)
17:00~17:50	日本病院会 北海道ブロック支部 役員会・年次総会
18:30~19:40	講演会(堺 常雄 副会長による講演)
19:40~20:20	意見交換会
20:30~	懇親会

〔報告事項〕

1. 各委員会等の開催報告について

下記委員会報告が実施された。

(1) 臨床研修委員会(第3回・3月31日)

①今後の臨床研修制度の概要について：医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の一部改正及び関連通知の一部改正(案)を検討。日本病院会としてのパブリックコメントを提出することとした。

(2) 地域医療委員会(第12回・4月3日)

①当面の諸問題について：医師不足、看護師不足に伴う病院経営問題を検討等。

(3) 医療制度委員会(第1回・4月8日)

①当面の諸問題について：DPC 評価分科会(3/23)で検討されている機能評価係数等を検討。②各委員会から提出された平成22年度診療報酬改定に係る要望項目を検討し、整理し日病協・実務者会議に提出することとした等。

(4) 第1回人間ドック施設認定小委員会/人間ドック健診施設機能評価委員会(4月9日)

①人間ドック健診施設機能評価について②健保連等との指定契約について。

(5) 日本診療情報管理学会倫理委員会・診療情報ガイドラインWG報告 (第1回・4月10日)

①書籍の名称変更について：「診療情報ガイドライン」として作成する書籍名を「診療情報学(初版)」とした等。

(6) 平成20年度コーディング勉強会(H20.4.1~H21.3.25)

①21会場で129回を開催し、延べ5,010人が参加。

(7) 医療経済・税制委員会(第1回・4月14日)

①平成22年度税制改正に関する要望について：主に消費税問題を論議。②今後の病院経営分析調査について：年内に報告書を取りまとめる予定。

(8) 雑誌編集委員会(第1回・4月16日)

①日病雑誌5月号及び6月号の企画・編集について：5月号は、医療制度委員会で内閣官房参事官の特別講演「社会保障国民会議報告」、介護報酬改定説明会で実施した「介護報酬改定について」(厚労省老健局・老人保健課)の内容掲載、6月号は、国際モダンホスピタルショー2009で邊見公雄(赤穂市民病院長)先生の講演「命がけ日本の社会保障関係」等を掲載。③投稿原稿及び速報(要望書)の掲載について：「高知医療センターにおけるPFI事業の検証」を掲載とした。

(9) ニュース編集委員会(第8回・4月17日)

①創刊800号記念号について：5月25日号を対象とし、役員等の寄稿で構成し、カラー刷り4ページを予定。②研修医問題特集について：役員、各種委員会委員長に執筆願い特集を実施等。

(10) 救急医療委員会(第1回・4月21日)

①平成20年度救急医療アンケート調査の結果報告について：取りまとめに伴い、各委員の意見を加味して修正を図ることとした。②第59回日本病院学会でのシンポジウムについて：テーマを「救急医療を再生させるには」と題し、シンポジウム構想が紹介。③国際モダンホスピタルショー2009でのシンポジウムについて：テーマ「輝かそう地

域救急医療」と題し開催。

2. 日病協諸会議の開催報告について

- (1) 4月15日(水)代表者会議：議長が小山信彌(日本私立医科大学協会 病院部会担当理事)氏、副議長として、邊見公雄(全国自治体病院協議会 会長)氏の選任報告。日本医療法人協会の委員交代として、日野頌三会長、加納繁照副会長の新任紹介。①医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の一部改正及び関連通知の一部改正(案)について」の意見募集について：出席者との意見交換の実施後、意見募集締め切りが4月17日(金)となっており、各団体、委員等への対応を願った。②平成21年度のインドネシア人看護師候補者の受入れについて：受入れに施設の十分な確保が厳しく、参加団体への協力周知を願った。また、看護師試験のあり方についての意見交換が実施。
- (2) 4月15日(水)実務者会議：平成22年度診療報酬改定に係る要望について：4月16日に第1報を要望実施し、今後、第2報、第3報を順次取りまとめる 等。

3. 中医協の開催報告について

資料を基に下記諸会議の開催概要報告が実施された。

- ・4月10日(金) DPC評価分科会
- ・4月15日(水) 診療報酬改定結果検証部会、診療報酬基本問題小委員会
- ・4月22日(水) 診療報酬改定結果検証部会、総会、診療報酬基本問題小委員会

4. 四病協について

- (1) 医療保険・診療報酬委員会(第1回・4月3日)
 - ①中医協報告、平成22年度診療報酬改定に係る要望についての2議題については、報告済み、協議事項での対応とし省略。②レセプトオンライン請求義務化・補正予算請求について：「レセプトオンライン請求義務化に関するアンケート調査」は総合部会で見送り、今後の対応を検討。結果、経済対策の一環としての予算措置を要望することとした。
- (2) 高齢者居住施設に関する医療・住宅関係者勉強会(第4回・4月9日)
 - ①高齢者向け賃貸住宅ビジネスモデルについて：(財)日本賃貸住宅管理協会から高齢者専用賃貸住宅の構想について報告願った。
- (3) 厚労省・福祉医療機構・四病協合同勉強会(第9回・4月22日)
 - ①厚労省からの報告：「地域医療再生計画」に基づき医療圏単位での医療機能の強化、医師等の確保等の支援とし、5年間で総額3,100億円の予算確保ができた。各都道府県で基金を設立し、1か所あたり100億円で10か所程度、また、病院の再編成、建替えとして、1か所あたり30億円で70か所の予算措置を実施した。②各団体からの報告として、福祉医療機構から「経済危機対応等事項」の一環として、融資条件の優遇措置として、医療貸付、福祉貸付事業への対応策が紹介。
- (4) 総合部会(第1回・4月22日)
 - ①議員連盟との四病協メディカルスクール検討委員会シンポジウムを4月10日に実施

した旨の報告。②国家試験合格者の早期発表について：医療施設での看護師採用は、有資格者を採用し、施設基準を取得している現状から、合格発表を1ヶ月程度前倒しし2月中に発表願うよう要望を取りまとめることとした等。

- (5) 医療現場の危機打開と再建をめざす国会議員連盟(超党派)との四病協とのメディカルスクール検討委員会シンポジウム(4月10日)
衆議院議員会館で開催され、日病から山本会長、堺副会長が出席した。

5. 行政関係の各種検討会等の開催報告について

4月7日(火)に開催された経済危機克服のための「有識者会合」に本会から、山本会長が出席。経済危機対策として、①医療の質・安全確保のための病院耐震化や医療機器の整備支援、病院IT化推進のための電子カルテの基本となるオーダリングシステムの標準化②ドクターズ・セクレタリーの導入による医師の勤務環境の改善につながる新規雇用の創出③高度先進医療、再生医療の臨床応用に向けた研究開発の推進を提案。結果として、提案した3点については、経済危機対策に反映された。関連して、厚労省が予算措置した医療施設耐震化整備(災害拠点病院等の耐震化等)事業、独立行政法人 福祉医療機構の優遇融資の拡充(耐震化の施設整備を行う医療機関への融資条件の緩和)について概要説明を実施。

6. 関係団体の各種検討会等の開催報告について

- (1) 第120回日本医師会定例代議員会(3月29日(日))については、資料一読とした。
(2) (財)日本医療機能評価機構 第1回理事会(第1回・4月17日(金))：理事長、副理事長、専務理事の選任結果報告があった。
(3) MEDIS ISO/TC215 国内対策委員会(4月20日(月))：①各WG委員から、前回の国際会議の概要報告、今回、英国エジンバラで開催される国際会議への対処方針について検討。②健康測定機器の使用標準化に関わる「IEEE11073-20601」の経緯と規格概要説明を実施した旨の報告。

7. その他の開催報告について

- (1) 日本病院会のロゴマークの選定結果：インターネット委員会での公募、各理事への推薦投票を実施して、結果報告を基に4月9日の会長・副会長会議で選定した旨の報告。
(2) WHO-FIC 教育委員会、IFHRO 合同会議(4月1日～2日・米国)
①教育委員会の委任事項および2008/2009年度の作業計画の確認等。
(3) WHO ICD 担当官ベテルハン・ウースタン氏表敬訪問(4月6日(月))の報告
(4) WHO 内科 TAG 国際会議 ICD 専門委員会およびTAG 内科検討委員会の意見交換会
①ICD 専門委員会およびTAG 内科検討委員会の意見交換会(4月7日(火))：ICD改訂の動向等の活動報告。②WHO 内科 TAG 国際会議：2010年のICD11草案(α版)の作成に向けての作業情報等。
(5) WHO-FIC ICD改訂運営会議・分野別専門部会(TAG)報告
(4月20日(月)～22日(水)・スイス)
①ICD改訂の進捗状況(作業計画、期限、概要)の報告。ICD11の目的、ケース、α版の構成等を検討し、今後のスケジュールとして、各TAGからの提案、9月下旬でのブート

キャンプ等を経て2010年5月15日のα版完成を目指した。

8. (独)福祉医療機構による「経営安定化資金融資制度」改変の要望について

「経営安定化資金融資制度」が改変となった旨の報告。

9. 医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案について

本会会員施設を対象に「医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案について」の意識調査(2月18日から3月3日に実施)の第一報の概要報告が実施された。会員各位の意見を整理し、報告書として取りまとめ配布を行う。

10. 代議員の交代について

下記代議員の交代(4月1日付)の報告が実施された。

(秋田県・公的)

旧)大淵 宏道(山本組合総合病院 院長)

新)小野地章一(仙北組合総合病院 院長)

11. 国会議員シンポジウムの開催について

患者の視点で医療安全を考える連絡協議会で国会議員シンポジウム～国会での十分な審議と早期設立を求めて～が開催される旨の紹介があった。

日 時 5月12日(火)の18時～20時30分

会 場 東京都・千代田区の星稷会館

〔協議事項〕

1. 当面の諸問題について

(1)平成22年度診療報酬改定について

22年度診療報酬改定に向け日病協が取りまとめた「平成22年度診療報酬改定に係る要望書(第1報)」を基に役員各位から意見拝聴を実施。今回の要望は、あまり細かい事項までには触れず、大きなポイントに絞って実施し、①入院基本料の大幅な増額と根拠に基づく算定方式の創設(入院基本料は、病院医療の崩壊を食い止めるべく、大幅に増額する)②介護(看護補助)業務の確立と看護基準の柔軟な運用(イ.7:1、10:1入院基本料においても看護補助加算を算定可能とし、介護(看護補助)業務を確立することを要望する。ロ.看護基準については、病院・病棟における患者の状態や当該病棟の病床数等により、柔軟な対応を可能とすることを要望する。ハ.日勤のみ勤務者の雇用を促進するため、月平均夜勤時間の実人数に、月あたり夜勤時間数16時間以下の者も含めることを要望する。また、夜勤も含め週40時間労働を基本とすることを要望する。)第一報の要望事項の骨子が説明され役員各位から意見拝聴した。

以上